

銅輸出は増加、輸入は電気銅が増加

自動車販売台数がプラスに転じる

橋本健一郎氏が欧州の新コロナウイルス感染の第二波に



橋本健一郎氏

国際概況
十月前半は欧州の新コロナウイルス感染の第二波に

や米国の追加経済対策の協議難航などのマインスマイルもあつたがトランプ氏が一議会の上下両院は二五〇億ドルの空運会社の給与支援や、一、三五〇億ドルの中小企業向け給与保護プログラムをすぐに承認すべきだ」とツイッターに投稿、チリ鉱山スト懸念が強気材料など好感しLME銅相場はUP、十月十五日時点で六、七〇二ドル(セツル)と月初価格より九二ドルUPの前半締めとなった。

後半は米国の追加経済対策協議待ちや欧米でのコロナ感染拡大による株安などのマイナスマイルもあつたが、米国の追加支援策を巡る期待や、チリ鉱山作業員スト、中国の堅調な需要、米大統領選でバイデン候補が次期大統領に確定したことを好感しLME銅相場はUP、十一月七日現在、後半スタート価格から二五三・五ドルUPの六、九三三・五ドル。当月スタート建値は七五万円。

■前月の経済指標

◆月間のドル/円レート(TTS)

一〇八・七〇→一〇五・六〇(円)。

◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると、七月の自動車生産台数は前年同月比二二・一%減の六九万七、八六七台。

輸出(八月)は前年同月比二二・八%減の二六万九、九五二台。

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると、十月の自動車販売台数(軽除く)は前年同月比三一・六%増の二五万三、三〇四台。

◆新設住宅着工件数

九月の新設住宅着工は、持家、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月

比九・九%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比〇・五%の減少となった。

新設住宅着工戸数は七万〇、一八六戸。前年同月比九・九%減、一五カ月連続の減少。新設住宅着工床面積は五、八二五千㎡。前年同月比九・二%減、一四カ月連続の減少。季節調整済年率換算値では八二万五千戸。前月比〇・五%減、二カ月連続の減少。

◆貿易関連指標

輸出

財務省貿易統計によると、輸出は前年同月比で電気銅が一〇〇・七%増の八万五、〇九四t、スクラップが二八・三%増の三万〇、六八一t。

輸入

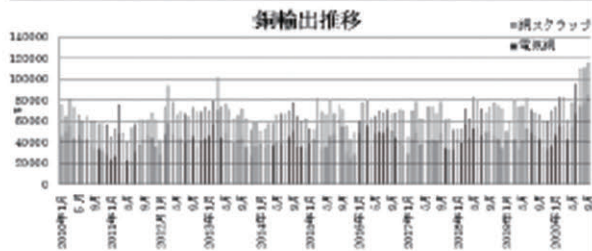
輸入は電気銅が前年同月比一五一・七%増の四九九t、スクラップ二・八%減の一萬〇、一〇六t。

■前月の国内指標

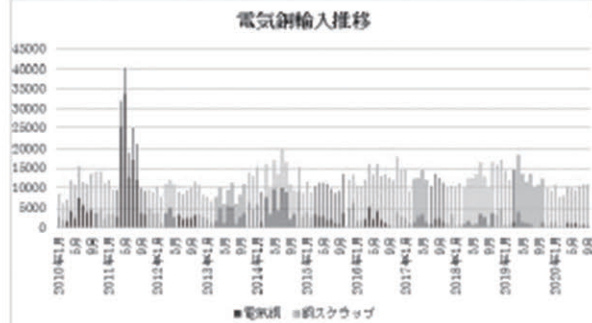
日本伸銅協会発表の九月の伸銅品生産推移(速報)によれば、前年同月比一九・一%減の四万九、六四五t。

日本電線工業会発表の出荷速報(推定)によると、銅電線出荷量は前年同月比二二・五%減の五万三千tであった。(六面へ続く)

銅輸出推移



電気銅輸入推移



LME銅・今月は米大統領選や欧米のコロナの動向が左右 為替予想

〔四面より続く〕

■国内概況まとめ

〔自動車生産〕

日本自動車工業会によると、七月の自動車生産台数は前年比二二・一％減の六九万七、八六七台。

輸出（八月）は前年同月比二二・八％減の二六万九、九五三台。

〔自動車販売〕

日本自動車販売協会連合会によると、十月の自動車販売台数（軽除く）は前年同月比三一・六％増の二五万三、三〇四台。

このうち、乗用車三四・五％増、貨物一五・九％増、バス四一・六％減。

〔住宅着工戸数〕

九月の新設住宅着工は、持家、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比九・九％の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比〇・五％の減少となった。

〔伸銅品生産〕

九月伸銅品生産は前年同月比一九・一％減の四万九、六四五tと、二二カ月連続減少。品種別では、銅条は前年同月比一四・七％減と五カ月連続マイナス、黄銅棒は同一六・七％減と一四カ月連続のマイナス。

〔電線出荷〕

前年同月比二二・五％減の五万三、〇〇〇t。このうち、国内二二％減、輸出が二七・四％減。

〔輸出〕

電気銅輸出が二〇〇七％増の八万五、〇九四t、銅スクラップが二八・三％増の二万〇、六八一t。

〔輸入〕

電気銅が二五・七％増の四九九t、スクラップが二・八％減の二万〇、一〇六t。

〔見通し〕

・七月の自動車生産は前年同月比二二・一％減だが、十月国内販売台数は同三一・六％増とプラスに転じた。

生産は大幅減だが、前月に続き減少率が治まってきていることも注目。

・十月伸銅品生産は前年同月比一九・一％減の四万九、六四五tと、二二カ月連続減少。

七月、八月と比べてマイナス幅が小さくなったことから、一部需要の回復が期待できる段階に変わってきた。また、八月は、夏季休暇等で設備稼働日が少なく、一日あたりの生産量で見ると、伸びてきていることも、次への期待につながる。

また上半期（四月から九月速報値）までの累計生産量は二八万五千トンと、昭和五十年上期以来の低水準となった。前年同期比で二三・七％減少した。これは、リーマンショック

ク以来のマイナス幅となった。

・電線出荷は前年比一二・五％減の五万三、〇〇〇t。このうち、国内は二二％減、輸出が二七・四％減。

・銅輸出は米中景気の回復期待需要からともにも増加。

・銅輸入は思ったほど国内生産は落ちていないことから増加。

〔スクラップ景況予想〕

流通在庫は銅建値が十月前半に二万円下落し後半に二万円上昇したが、前月からの玉不足が響いて少ない。

需要面に関しては、国内自動車販売の回復、また米中需要の回復からの輸入玉不足からのシフトで需要は旺盛。

〔LME・為替予想〕

今月は米大統領選の動向や欧米のコロナウイルス収束の動向に左右される。

米大統領選に関しては、バイデン優勢の流れを受け、経済対策への期待感から景気が上向く可能性あり。ただ、開票を巡る混乱が広がれば、相場が崩れるきっかけになる。

コロナ収束の動向に関しては欧州でのロックダウンの増加、米国での感染拡大から世界的には悪化する可能性が高い。

これらを踏まえた十一月の銅価格は六、五〇〇〜七、〇〇〇ドル（セツル）との予想。ドル円値は一〇四円〜一〇六円（TTM）台を予測。

銅建値に関しては七二〇〜七八〇円程度と予測している。

LME 非鉄在庫 (11月10日発表分)

	入庫	出庫	11月9日現在		増減
			現貨	在庫	
銅	0	1,550	169,575	-	1,550
G A W	0	0	0	±	0
G A C	0	1,550	169,575	-	1,550
す	35	40	4,415	-	5
鉛	0	500	116,225	-	500
亜鉛 SHG	2,900	375	221,825	+	2,525
アルミ	0	6,125	1,425,450	-	6,125
々 二次合金	0	20	5,380	-	20
ニッケル	510	48	239,292	+	462
アルミニウム (NASAA)	0	80	24,760	-	80